

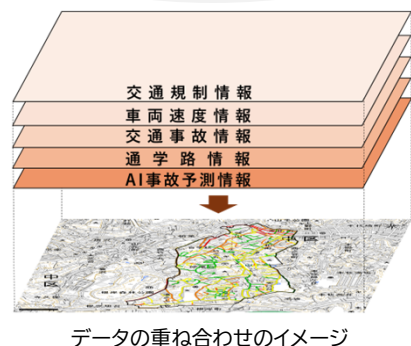
子どもの通学路交通安全対策事業の取組概要

横浜市では、令和5年度から、「交通事故データ」や「車両速度などのビッグデータ」などを活用し、ハード・ソフト両面で子どもの通学路交通安全対策事業に取り組んでいます

■ハード対策

・交通安全対策の立案

ビッグデータを活用した
潜在的な交通危険箇所の
「見える化」による交通安全対策

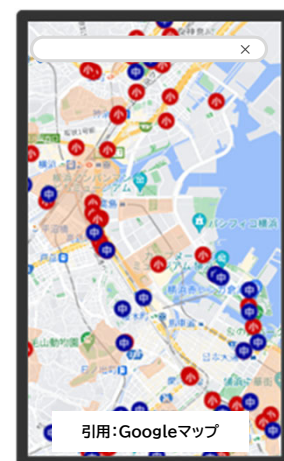


・ハード対策の事例



■ソフト対策

・こども・安全安心マップの公開 (令和6年7月)



・教育現場
・スクールゾーン対策協議会
・見守り活動(はたふり)
・交通安全教室
など、交通安全活動で活用

▼マップはこちら



・市立全小学校(339校)通学区域内での取組



・交通安全推進校※通学区域内での取組



交通安全教育を
重点的に実施

令和7年度取組内容

令和7年度は、データを活用した交通安全対策を市内26地区で実施しました。

このうち、交通安全推進校に選定された ①豊岡小学校(鶴見区)、②南神大寺小学校(神奈川区)、③永田小学校(南区)、④港南台第二小学校(港南区)、⑤洋光台第一小学校(磯子区)、⑥洋光台第二小学校(磯子区)、⑦瀬ヶ崎小学校(金沢区)、⑧日吉台小学校(港北区)、⑨千秀小学校(栄区)の9校では、教育委員会事務局と連携しながら、ハード・ソフト両面で交通安全対策を実施しました。

ハード対策



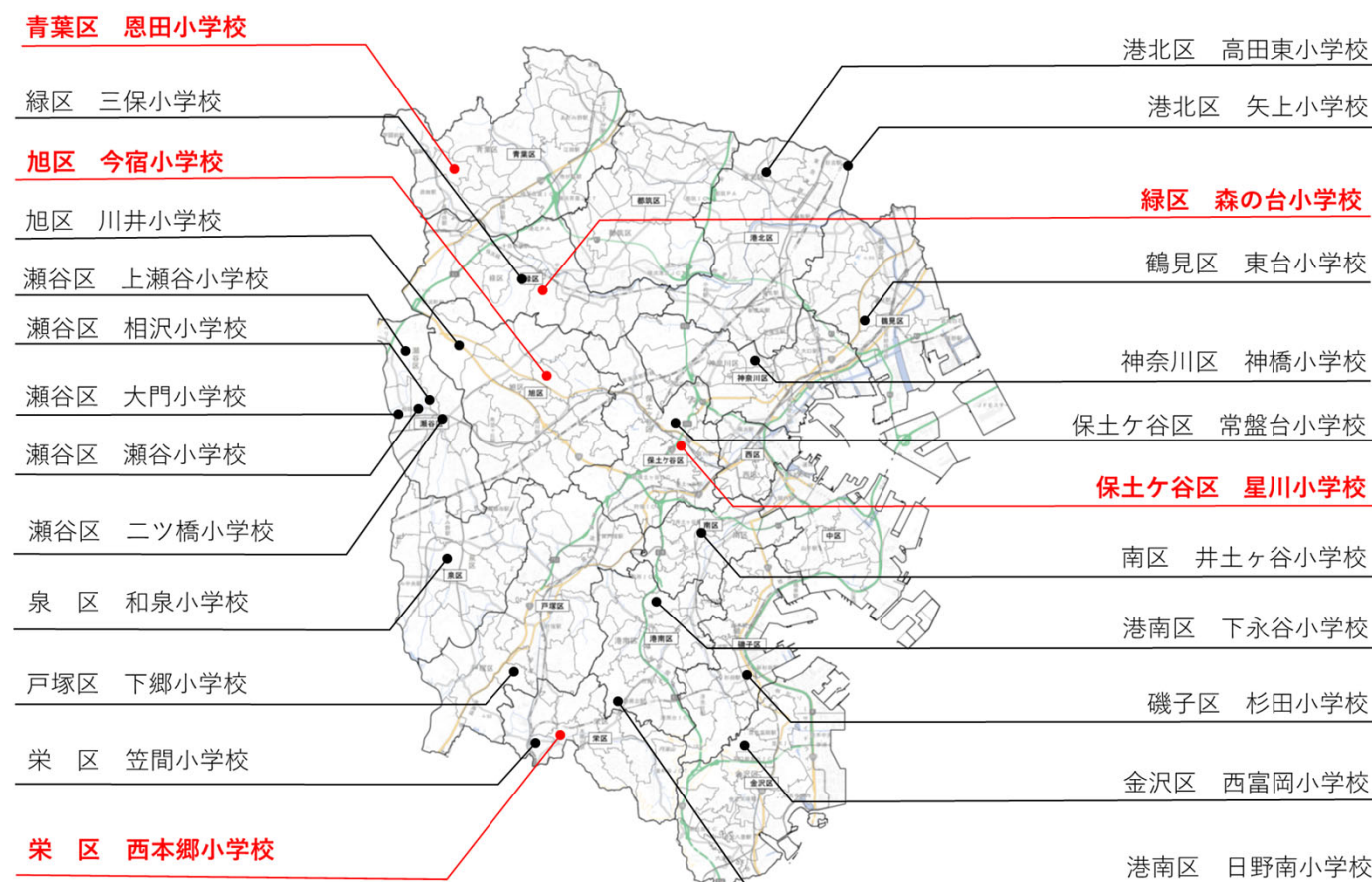
ソフト対策



令和8年度取組内容

令和8年度は、データを活用した交通安全対策を市内25地区で実施します。

このうち、交通安全推進校として、①星川小学校(保土ヶ谷区)、②今宿小学校(旭区)、③森の台小学校(緑区)、④恩田小学校(青葉区)、⑤西本郷小学校(栄区)の5校が選定されました。
スクールゾーン対策協議会などで対策内容を説明しながら、ハード・ソフトの両面で交通安全対策を実施していきます。



※交通安全推進校…児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する小学校・義務教育学校(教育委員会で公募)